5月定例市長記者会見案件(10日開催)

- ① 特定非営利活動法人フローレンスとの包括連携によるLINE「おやこよりそい チャットやまがた」の開始について (こども家庭支援課)
- ② 地域連携 I Cカード「yamakocherica ヤマコウチェリカ」のサービス開始に伴 う山形市の取り組みについて (企画調整課・長寿支援課)
- ③ 「第48回蔵王山クリーン作戦」の実施について

(環境課)

〈添付資料〉

- ① 特定非営利活動法人フローレンスとの包括連携によるLINE「おやこよりそい チャットやまがた」の開始について (こども家庭支援課)
- ② 地域連携 I Cカード「yamakocherica ヤマコウチェリカ」のサービス開始に伴う 山形市の取り組みについて (企画調整課・長寿支援課)
- ③ 「第48回蔵王山クリーン作戦」の実施について

(環境課)

〈資料のみ〉

• 第21回 紅花の山形路物産と観光展「横浜髙島屋展」の開催について(山形ブランド推進課)

次 回 6月定例記者会見 6月 2日(木)14:00~

次尺回 7月定例記者会見 7月15日(金)14:00~



→ 特定非営利活動法人フローレンスとの包括連携による → LINE「おやこよりそいチャットやまがた」の開始について

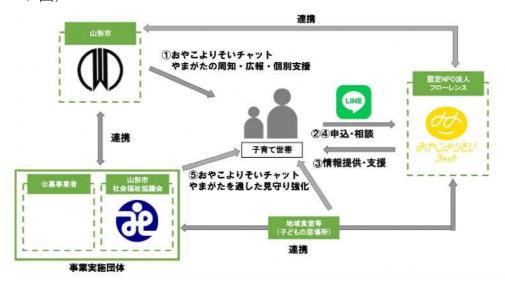
1 概要

山形市では、地域で孤立し、必要な支援につながりにくい世帯を解消し、各家庭の課題を解決に導くため、令和4年2月24日に「親子の笑顔をさまたげる社会問題を解決すること」をミッションとして幅広く活動されている(特非)フローレンスと「子育て世帯に対する支援」の推進に係る包括連携に関する協定を締結した。

コロナ禍による児童の見守り機会の減少を受け、支援対象児童等見守り強化事業を開始するにあたり、(特非) フローレンスと連携し、周囲に支援を求めることに抵抗感がある子育て世帯に対し、身近なコミュニケーションツールであるLINEを活用した「おやこよりそいチャットやまがた」を実施することで、子育てに関する様々な困りごとや悩みに関する情報発信・相談を行い、適切な相談窓口の紹介や具体的な対応方法等を提供するとともに、支援が必要な児童の早期発見を目指す。また、地域食堂等子どもの居場所づくりを行う山形市社会福祉協議会など関係機関とも連携し、見守りを強化することで、児童虐待の防止を図る。

2 業務の概要

(イメージ図)



- ① 山形市が子育て世帯に対し「おやこよりそいチャットやまがた」を周知
- ② 希望する世帯はLINE公式アカウントを友だち追加する
- ③ 対象世帯に山形市の情報提供及びデジタルソーシャルワークによる相談支援を実施
- ④ 山形市等が、見守り支援が必要と思われる世帯に宅食の情報提供を行い希望者は LINEにて利用申請
- ⑤ 事業実施団体・市で連携のうえ宅食を活用しながら児童の見守り支援及び世帯の状況に応じた支援を行う。

3 事業の効果

子育て世帯が「おやこよりそいチャットやまがた」を通じ、社会福祉士や精神保健福祉士などの有資格者とLINEを通じたゆるやかなつながりを継続することで、相談に対する物理的・心理的ハードルを下げ、関係性を築くことが可能となることから、コロナ禍で一層強まる子育て世帯の困りごとや孤立感の解消につながる。

また、より支援を必要とする要保護児童対策地域協議会の支援対象児童等に対し、 宅食という食を通じたつながりを継続することにより、より早期からの相談対応と見 守りを強化することができる。

4 事業開始日

令和4年5月11日(水)より

5 稼働日

平日午前9時00分~午後6時00分 時間外の相談については、翌営業日中に対応を行うこととする。

6 その他

(実施見込み)

LINE登録世帯2.000世帯

・相談支援件数 年間延べ1,000件

・宅食利用世帯 100世帯

問い合わせ先

こども未来部こども家庭支援課こども相談室 TeL023-641-1212 内574

地域連携 I Cカード「yamakocherica ヤマコウチェリカ」のサービス開始に伴う 山形市の取り組みについて

山交バス株式会社では、令和4年5月14日から地域連携ICカード「yamakocherica ヤマコウチェリカ」のサービスを開始する。これに併せ、山形市コミュニティバス東部及び西部循環線「ベニちゃんバス」でも「チェリカ」対応機器を導入し、利用者の利便性向上と利用拡大を図るとともに、キャッシュレス化による感染症に強いまちの実現を目指す。

また、高齢者の閉じこもり防止などを目的として実施している山形市高齢者外出支援事業(山形市シルバー3カ月定期券の購入支援)について、今月5月14日の購入分から、これまでの紙の定期券を「チェリカ」に変更する。

更に、バスの乗り方講座を実施し「チェリカ」導入に伴う路線バスやコミュニティバスの新たなサービスとこれまでとの変更点などについて、利用者の方々に理解を深めていただくとともに、バスの基本的な乗り方も併せて知ってもらうことで、バス利用に対する不安の解消と更なる利用促進を図る。

1 ベニちゃんバスへの「チェリカ」導入について

ベニちゃんバスの全車両(合計4台)に「チェリカ」対応機器を導入する。

<主な導入メリット>

- ・高齢者をはじめとしたバス利用者の乗降時の負担軽減
- ・乗降時間の短縮によるバスの定時性確保
- キャッシュレス化による感染症の感染リスクの軽減
- ・旅行客など市外からの来訪者の移動の円滑化

<導入に伴う変更点>

- ・ベニちゃんバスの回数券を廃止 (既購入分は引き続き利用可)
- ・山形市コミュニティバス高齢者乗車証を「チェリカ」に移行

2 山形市高齢者外出支援事業について

山形市シルバー3カ月定期券を「チェリカ」に変更する。それに伴い、令和4年7月1日から制度の一部を見直す。

<変更点>

- ・定期券の乗車範囲について、「市外を含むすべての一般路線」から「山形市内の 一般路線」に変更する。(市外乗車分については、利用者が別途運賃を負担する。)
- ・これまで購入できなかった方(運転免許証自主返納タクシー券の交付を受けている方、重度障がい者のための福祉タクシー券・給油券の交付を受けている方) も、70歳以上の山形市民の方であれば、誰でも購入が可能となる。

< 「yamakocherica ヤマコウチェリカ」とは>

バスの乗車券や定期券などの地域独自サービスの機能に加え、「Suica (スイカ)」 エリアなどで利用可能な乗車券や電子マネーなどのサービスが、1枚で利用可能なカードで、バスの利用運賃に応じて交通ポイントが貯まり、貯まったポイントは自動的に運賃から差し引かれる。

3 バスの乗り方講座の開催について

①開催日時:令和4年5月18日(水)から令和4年6月8日(水)

②開催場所:市内のコミュニティセンター全20箇所

※公民館全8箇所については、4月下旬から5月上旬に実施済。

③講座の内容

- ・地域連携ICカード「ヤマコウチェリカ」の概要
- ・山形市のコミュニティバス等及び高齢者乗車証について
- ・ 高齢者外出支援事業(山形市シルバー3ヶ月定期券)について
- ・ 実車を用いた乗車体験

4) その他

- ・会場では、「ヤマコウチェリカ」(無記名式)の販売を行う。販売額は1,000円(デポジット(預り金)500円を含む)。
- ・乗り方講座の開催に係る主な周知方法については、広報やまがた5月1日号への記事の掲載のほか、コミュニティセンターだより(5月号)への掲載、企画調整課窓口でのチラシ配布などを行う。

⑤開催日程

5月18日(水)	10:30-11:30	飯塚コミュニティセンター
3万10日(水)	14:00-15:00	千歳コミュニティセンター
5月20日(金)	10:30-11:30	滝山コミュニティセンター
5万20日(並)	14:00-15:00	南山形コミュニティセンター
5月23日(月)	10:30-11:30	鈴川コミュニティセンター
5月25日(月)	14:00-15:00	楯山コミュニティセンター
5月25日(水)	10:30-11:30	山寺コミュニティセンター
5月25日(水)	14:00-15:00	高瀬コミュニティセンター
5月27日(金)	10:30-11:30	本沢コミュニティセンター
5月21日(並)	14:00-15:00	村木沢コミュニティセンター
5月30日(月)	10:30-11:30	西山形コミュニティセンター
5 Д 30 Ц (Д)	14:00-15:00	蔵王コミュニティセンター
6月1日 (水)	10:30-11:30	大曽根コミュニティセンター
	14:00-15:00	明治コミュニティセンター
6月3日(金)	10:30-11:30	大郷コミュニティセンター
0月3日(並)	14:00-15:00	出羽コミュニティセンター
6月6日(月)	10:30-11:30	南沼原コミュニティセンター
	14:00-15:00	椹沢コミュニティセンター
6月8日(水)	10:30-11:30	金井コミュニティセンター
	14:00-15:00	東沢コミュニティセンター

問い合わせ先

・チェリカ導入、バスの乗り方講座について 企画調整部企画調整課交通政策室交通企画係 TELO23-641-1212 内221 高齢者外出支援事業について 福祉推進部長寿支援課長寿福祉係 TelO23-641-1212 内566

「第48回蔵王山クリーン作戦」の実施について

1 目的

雄大な景観と、貴重な動植物や温泉等豊かな自然資源を有する蔵王連峰の良好な自然環境を保全していくため、新型コロナウイルス感染症に対する十分な対策をとったうえで、3年ぶりの蔵王山クリーン作戦を行う。ごみや空き缶等を回収する美化活動や自然を尊ぶ意識を育てる学習活動を通して、改めて、貴重な蔵王の自然を大切にする心を育んでいただく。

2 主催

山形市を美しくする運動推進委員会・蔵王温泉観光協会・山形市

3 実施日

令和4年6月4日(土) 午前8時30分から正午頃まで

4 事業内容

11班に分かれ、コース上のごみを収集するなどの美化活動を行う。また、蔵王山岳インストラクターを講師とし、自然の尊さや森林等の役割、働き等、自然環境について学習する。

5 参加対象者

市民、企業、ボランティア団体等

6 参加募集定員等

- ① 定 員 約350人
- ② 申込方法 電話にて環境課へ申し込み
- ③ 申込締切 令和4年5月25日(水)

7 感染防止対策

- ① 参加人数の制限(前回の半数程度)
- ② 開会セレモニーを取りやめ、2ヶ所の分散集合とし、密となる状況を回避
- ③ 参加者のマスク着用の徹底及びアルコール消毒の設置
- ④ 受付時の体温測定
- ⑤ 団体ごとに名簿の提出を求め、参加者の把握
- ⑥ ロープウェイ利用時、索道事業者の感染防止ガイドラインを遵守
- ※ なお、今後の感染状況により、中止とする場合がある。

8 本部及び救急体制

本部は蔵王スキーパトロール隊詰所(蔵王アストリアホテルの北西約50m)に設置する。 また、救護所を本部に併設し、蔵王スキーパトロール隊員1名、自然公園管理員1名、市職員 2名を配置する。

9 雨天時の対応

小雨(1時間1ミリ程度の雨)決行。その場合、中腹以上コースでは、ゲレンデ内に入らず、 遊歩道のみの清掃とするほか、温泉街周辺のコース参加者の人数を増やすなど、今後インストラ クターと協議し、実施方法について調整する。

10 連絡体制等

当日の早朝より、ラジオモンスター (FM76.2MHz) で、実施の有無について放送する。また、中止の場合は、事務局から参加申込者へ連絡網により電話連絡を行う。

く参考>

①参加団体及び参加者数の推移

	年度	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21
団	団体数	コ		21	20	19	20	17	22	20	21	20	25	19
体	参加者数 (人)	ロナ	672	669	643	688	615	839	696	828	504	889	872	
個人	参加者数 (人)	禍の影響に	17	14	11	6	7	9	18	22	9	11	14	
参加者数計 (人)			1-	689	683	654	694	622	848	714	850	513	900	886
ごみ収集量 (kg)		り中止	112	112 44	45	70	雨天	雨天	75	85	80	雨天	雨天	
			112 44	44			中止	中止				中止	中止	

[※] 平成21、22、26、27年度は雨天中止のため、団体数及び参加者数は参加申込み者数

②班別コース図

別紙参照

問い合わせ・申し込み先 環境部環境課 自然共生係 % 123-641-1212 (内線 683)

